

第3回 大阪 MICE 推進委員会 会議要旨

1 開催日時

平成 30 年 12 月 11 日（火）午前 10 時～12 時

2 開催場所

（公財）大阪観光局会議室

3 出席者

（委員）

江島氏（大阪府府民文化部長岡本委員の代理）、柏木委員（大阪市経済戦略局長）、宮城委員（大阪商工会議所専務理事）、徳田氏（関西経済連合会専務理事関委員の代理）、與口委員（関西経済同友会事務局長廣瀬委員の代理）、溝畑委員（大阪観光局理事長）

4 議事要旨

（1）戦略的な MICE 誘致の推進

・事務局が、ICCA 基準・JNTO 基準における前年度の件数や、現状の限られた施設を使って誘致活動を進められる分野の国際会議について説明を行った。

（2）MICE クラスターとの連携

・事務局が、各クラスターの地域特性を活かした独自の取組みや近況、大阪観光局との連携について説明を行った。

（3）MICE アライアンスとの連携

・事務局が、今年度実施した大阪 MICE ビジネスアライアンス定例会及び大阪 MICE ビジネスアライアンス総会の説明を行った。

（4）MICE 推進体制及び MICE 施設のあり方に関する検討

・事務局が、MICE 推進体制と MICE 施設のあり方について、現状と他都市の例について説明を行った。

（5）主な意見

- ・ICCA 基準に重きをおいていく必要がある
- ・韓国や中国もターゲットに入っているので、クラスターのパンフレット等は日英だけでなく多言語化するなどの強化が必要
- ・IR が来た後に各クラスターが生きてくると思う
- ・IR 事業者と MICE について議論ができる場が必要
- ・誘致にあたってのアプローチの仕方やターゲットの変更など、順に対応しておりとても良いと思う

- 事業者派遣や行政派遣を含めて色々な範囲で推進体制を広げていくと良いと思う
- 誘致件数だけでなく、延べ人数や経済効果を見て、都市のブランド力がどれだけ上がったのかという指標をもっておかないといけない
- I R開業を見据えた MICE 誘致戦略と、クラスター連携の継続的な取組みとを並行して行っていくことが大事
- 大型の産業的な見本市や展示会、医学系学会、ライフサイエンス、そして今後万博のテーマになってくるスポーツや食の展示会誘致を目指すべき
- 万博の跡地利用も視野に入れて考えていかなければいけない